

日本新生児成育医学会 2022年度 第2回理事会 議事録

日 時：2022年5月9日（月）16：00～18：40

形 式：Web 会議システム zoom を利用

出席者：早川昌弘（理事長），諫山哲哉，大曾根義輝，河井昌彦，日下 隆，河野由美，高橋尚人，長 和俊，中西秀彦，長谷川久弥，飛弾麻里子，廣間武彦，細野茂春，水野克己，森岡一朗，芳本誠司，和田和子，和田雅樹（各理事），中村友彦，与田仁志（各監事），東海林宏道，北東 功，松本 敦（各幹事）

欠席者：茨 聡，福原里恵（各理事）

（敬称略）

議 事：

1. 理事長報告

1) 通信理事会議決結果報告の件

議決を取ったものは1件，そのほかのお知らせ等は9件であった。

2) 年会費請求の件（2022年度会費納入状況）

2022年度は全会員2,556名中，名誉・功労会員130名を除く2,426名のうち，延べ1,736名（71.5%）（3月31日現在）より納入され，代議員費とあわせて24,520,000円の会費納入となった。

3) 2022年度会計途中経過報告

2021年10月～2022年3月の半期分の会計について事務局より報告があった。

4) 非医師入会の件

臨床心理士の方より入会申し込みがあった。

5) 文献許諾使用料の件

メテオ社の2022年1～3月の文献使用料は合計1,326円であった。5月31日付で5,880円が支払われる予定である。

6) The 4rd Taiwan-Korea-Japan Joint Congress on Neonatology の件

2022年3月19日，台湾・台中にてWeb開催され，本会より，以下の演題発表があった。

《Special Lecture》

演者：諫山哲哉先生（国立成育医療研究センター）

座長：谷口英俊先生（大阪大学大学院医学系研究科）

《English Oral Presentation》

伊藤誠人先生（秋田大学附属病院小児科）

山本和也先生（昭和大学病院小児科）

鈴木俊彦先生（名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門）

北瀬悠磨先生（Johns Hopkins University）

7) 「被災地の避難所などで生活する赤ちゃんのためのQ & A」ウクライナ語・ロシア語版発行の件

新生児医療連絡会の大木事務局長から「被災地の避難所などで生活する赤ちゃんのためのQ&A」のウクライナ語版・ロシア語版を制作し，関連団体に届ける際に本会の名前を入れてよいか確認があったため，承認した。

8) 先天性CMV感染症診療ガイドラインの作成協力依頼の件

前回の理事会で承認された「先天性CMV感染症診療ガイドライン」の作成に際し，本会から1人委員を推薦する件について藤岡一路先生（神戸大学医学部附属病院）に就任いただくこととした。

9) 理事選挙2022スケジュールの件

2年に一度の選挙関連業務の日程を確認した。

6月24日より立候補の受付を開始し、7月8日に立候補を締め切る。7月30日より投票を開始し、8月17日に投票を締め切り、9月1日に確定する予定である。

10) 2022年度理事会スケジュール

理事会開催のスケジュールを確認した。次回は8月1日(月)16:00から開催予定である。

11) 第126回日本小児科学会学術集会 プログラム委員選出の件

第126回日本小児科学会学術集會会頭 清水俊明先生より本会からプログラム委員への推薦依頼があり、水野理事に就任いただくこととした。

12) 魚油由来静注用脂肪乳剤 Omegaven[®] 開発(医師主導治験)に対する要望書提出の件

東北大学の和田 基先生より、応募していたAMEDの臨床研究・治験推進研究事業の評価結果の通知が届き、不採択だったことが報告された。要望書の改善を図り、次回採択に向けて本会として可能な限り協力することをお伝えした。

13) 寄附の件

ピジョン株式会社より10万円ご寄附いただいた。学会ホームページに社名を掲載している。

14) 超低出生体重児の小児慢性疾患申請の件

諫山理事より小児慢性疾患について厚労科研の研究を申請しているが、2年連続で不採択となった報告があった。本会としても2017年に小児慢性特定疾病の追加疾患として「超低出生体重児」を申請したが認められなかった。今回、診療委員会の芳本理事に申請の再開を検討するよう依頼した。

前委員長である与田監事よりこれまでの経緯が説明された。

15) 英文雑誌への参加の件

他学会が英文雑誌に参加しているとの報告があり、本会でも同様に英文雑誌へ参加するかどうか、英文誌WGの河井理事に調査を依頼したところ、新生児領域で参画している事例はないとの報告があった。

経費の面や日本医学会への入会ハードルの高さなどを鑑みて、英文誌への参加については一旦白紙とし、次年度以降の理事の先生方に引き継ぐこととした。

16) 印税寄付の件

メディカ出版の書籍『改訂2版 新生児慢性肺疾患の診療指針』の印税2,456円を4月26日に名誉会員の藤村先生と田村先生よりご寄付いただいた。

17) 理事長職務報告

通信理事会の発信、内規案の作成依頼、選挙業務の進捗確認、台湾とのやり取りなどを行った。

2. その他報告

『小児RSウイルス呼吸器感染症診療ガイドライン』印税報告の件(森岡理事)

『小児RSウイルス呼吸器感染症診療ガイドライン』の2021年度著作権使用料として日本小児呼吸器学会と折半された508,116円が5月末に協和企画より入金予定である。販売期間は2021年6月1日～2022年3月31日、販売部数2,446冊であった。

3. 審議事項

第1号議案 学術集会の余剰金の件(早川理事長・和田和子理事)

2022年11月開催の学術集会以降、余剰金については全額本会に返金することとした。欠損金についての対応、学術集会補助金の本会への返金について明文化し、内規を修正して次回理事会か通信理事会に諮ることとなった。

第2号議案 理事長選出における立候補制の導入について(和田和子理事)

理事長選の内規案を総務委員会で作成し、賛成1/2以上で承認可決された。内規に理事長選立候補制のスケジュールを組み込み、次回理事会か通信理事会に諮ることとなった。

第3号議案 代議員，理事の選挙におけるクォータ制導入について（河野理事）

代議員，理事選挙における女性会員のクォータ制の導入（全会員に占める女性比率を目標人数として反映）について提案され，2年後の代議員・理事選挙で導入することとなった。それまでの2年間で女性が活躍できる風土作りやサポート体制を作り，女性比率に関しては再度委員会で検討し，次回以降の理事会に諮ることとなった。

第4号議案 理事選挙の運用について（早川理事長）

定款施行細則第18条の8項に「得票多数を得たものより順次15名を当選者とし，得票数が同数であるときは会員歴の長い者を当選者とする」としている。複数名同じ入会年月日の方がおられた際は，「選挙管理委員長から理事長に報告し，理事長が人数を考慮し判断する」対応について賛成1/2以上で承認可決された。

第5号議案「災害時の新生児医療復旧作業手順」の英語版の公開について（早川理事長）

「災害時の新生児医療復旧作業手順」の英語版をPI誌に掲載するにあたり，新生児医療連絡会と打ち合わせを行った。世界の医療従事者の責任者の目に止まるよう，オープンアクセスとし，ダイジェスト版を作成して投稿する。文献に学会ホームページのURLを掲載し，学会ホームページには英語版のWEBページを作成する。英語版WEBページの構築費はページ数などが確定せず，現時点で見積もりが出ていないが，本件を進めることについて賛成1/2以上で承認可決された。

第6号議案 用語委員会設置について（早川理事長・細野理事）

用語委員会新設について，まずは委員会設置WGを立ち上げ，委員会の役割や業務を検討することが提案された。細野理事をWG長とし，委員会設置WGを立ち上げることについて，賛成1/2以上で承認可決された。また，委員選出についても細野理事に一任することが承認された。

第7号議案 広報委員会アンケート実施について（水野理事 代 事務局）

ホームページリニューアルのアナウンスを兼ねて会員の先生方にWEB上でアンケートを実施し，ホームページの新しい項目立てに使用するにあたり，アンケート項目の確認を含め通信理事会に諮ることとなった。

4. 第66回学術集会について（長谷川会長 代 早川理事長）

2022年11月24日（木）～26日（土），パシフィコ横浜で開催予定であり，6月1日より演題募集を開始する。

5. 第67回学術集会について（細野会長）

2023年11月2日（木）～4日（土），パシフィコ横浜で開催予定である。

6. 第68回学術集会について（中村会長 代 早川理事長）

2024年11月8日（金）～10日（日），ホテルブエナビスタ（松本）で開催予定であり，合同開催の新生児看護学会は11月9日（土）～10日（日）の日程である。

7. 各種委員会報告

1) 感染対策予防接種委員会（森岡委員長）

「早産児への抗菌薬使用方針ならびに各施設の多剤耐性菌感染対策のアンケート調査」と「NICUにおけるロタウイルスワクチンの定期化への対応に関するアンケート」は，集計と解析が終了し，第66回日本新生児育成医学会のシンポジウムで発表する。その後，論文化を検討している。

2) 社会保険委員会（和田雅樹委員長）

1. 令和4年度診療報酬改定報告

- 本会から提案した「出生前ハイリスク新生児カウンセリング加算」は「成育連携支援加算」として保険収載された（母体に加算，総合周産期等の要件あり，1,200点/回）。
- 共同提案項目は，特に「アンバウンドビリルビン測定の期間延長」，「出生後ハイリスク新生児カウンセリング加算」は収載されなかった。
- 中医協に提案していた「慢性肺疾患合併児のNICU加算期間延長」が反映された（出生体重等により延長

期間の違いあり)。

- 小児系全体としては、要望通り反映されたものが6%、一部要望が反映されたものが13%、全く反映されなかったものが81%であった。

3) 総務委員会 (和田和子委員長)

1. 理事長選出における立候補制の導入について、内規案を理事会に提出する。
2. 現行の学術集会の余剰金・欠損金について内規をそのまま運用することを理事会に上申する。
3. 理事の女性比率の向上について、総務委員会からは、「特任理事」という形を1つの案として提出する。
4. その他 本会の発展に関して

4) 倫理委員会 (福原委員長 代 早川理事長)

第66回学術集会の委員会企画を検討するために、2021年8月、10月、2022年2月の3回WEB委員会を開催し、2022年3月28、29日に臨時委員会を開催した。それ以外はML上での意見交換を行って企画を立案し、長谷川会長に報告した。

1. 家族を交えた多職種による公開WS

「兄の最善の利益」を話し合うために・・・～家族との話し合いが進まなくなった事例を通して考えよう～
医師、看護師、MSW、心理士、ご家族をパネリストとしてお招きし、事例をもとに、公開WSを開催する。

2. 教育講演

「小児救急・集中治療領域における終末期医療の話し合い ～どのような価値観と、どのような選択肢があるのか～」(聖マリアンナ医科大学 小児科学 清水直樹教授)

5) 産科医療補償制度対応委員会 (細野委員長)

日本医療機能評価機構より「第12回産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」が届き、学会ホームページに掲載した。

6) 診療委員会 (芳本委員長)

1. 第3回小児科学会小児慢性疾患委員会(4/12web会議)の報告

- 令和3年11月施行小児慢性特定疾病および指定難病の追加疾病について
「早産児ビリルビン脳症」小児慢性特定疾病追加、指定難病非追加。
- 成人年齢引き下げにともなう小児慢性特定疾患申請の変更について

18歳以上の対象者を「成年患者」として本人名義で申請する必要がある。家族が申請する場合には委任状が必要。

7) 広報委員会 (水野委員長 代 早川理事長)

1. ホームページのリニューアル終了し4月6日に新サイトがオープンした。
2. 前回理事会にて承認されたホームページ充実のため下記を予定している。

- 「会員・医療関係者のみなさまへ」ではガイドライン・施設紹介を掲載
- 「医学生・研修医のみなさまへ」では6月開催のNICU入門セミナー参加者にアンケート調査を行い、Q&A集を作成し掲載
- 「一般のみなさまへ」では災害関連のお役立ち情報・NICUでICの際に使われがちな専門用語解説を掲載

8) 医療の標準化委員会 (諫山委員長)

JEBNeo (Japan Evidence Based Neonatology) の活動報告

1. 全体会議

- 毎月1回、全体会議で勉強会を開催

2. CLD ガイドライン作成チーム

- 約28個のClinical questions (CQ) 班に分かれCQリーダー決定
- 各CQのPICO策定、PICO検討会議(約30分/PICO)でPICOシート作成

3. PDA ガイドライン作成チーム

- CQ 班の決定と4月中に PICO 検討会議を行う予定

4. JEBNeo のアウトカム重要度評価のまとめ

9) 男女共同参画推進委員会（河野委員長）

1. 2022年3月8日にWEB会議形式で委員会を開催した。

代議員、理事の男女構成比について議論した。委員会として代議員、理事のクォータ制を提案する結論にいたった。*クォータ制：議席のうち一定割合を女性または男女に割り当てるもの

2. 第66回学術集会での委員会主催シンポジウムの内容について

演者と講演内容が決定し、学術集会会長の長谷川先生にシンポジウム案を提出した。

10) 学会将来構想委員会（高橋委員長）

1. 第1回学会将来構想委員会拡大委員会を開催

4月8日にオンラインで、学会の次世代を担う先生方（垣内五月、丸山秀彦、石田宗司、杉浦 弘、吾郷真子、中村信嗣、根本 篤、郷 勇人、平田克弥（敬称略））をお招きし、本会が将来のためにすべきことについて意見をいただいた。

11) 国際渉外委員会（日下委員長）

1. The 4th Taiwan- Korea -Japan Joint Congress on Neonatology に参加した。

2022年3月19日に、台湾 Taichung Veterans General Hospital にて行われた。

Guest speech として早川昌弘理事長が挨拶をされた。とても有意義な国際会議となり、今後も3か国で継続予定である。

12) 教育委員会（中西委員長）

1. 第8回医学生・研修医向け NICU 入門セミナー

- ライブ配信日 2022年6月18日（土）13～18時予定
- 学会ホームページに案内掲載中。現在参加者募集中（4/18現在50名申込）

2. 第25回教育セミナー

- 開催日を2022年8月とし、コロナ感染状況を注視しつつ、現地開催案とWEB開催案の2つを企画
- 現地開催：2022年8月20日（土）～2022年8月22日（月）倉敷シーサイドホテル
- WEB開催：2022年8月20日（土）～2022年8月21日（日）
- ライブ講義、ハンズオンセミナー、グループディスカッションを予定、企業協賛も募集中

3. 第66回学術集会における教育委員会企画シンポジウム

- 「打ち破れ、中小NICUだからこそできる研究プロダクト！（仮）」
- 座長：北里大学医学部新生児集中治療学 中西秀彦先生・岡山大学小児科 鷲尾洋介先生

4. 定期入門WEBセミナーを企画

(1) 目的・テーマ・対象

「学会会員数を増やす」「若手の育成」「世界への発信」

- 他のセミナーでは得られない、先端知識や多様な考え方に言及し、本セミナーの独自性を重視する一方で、基礎知識を伝える講義も織り交ぜ、Webinar ならでの企画も検討する。
- 新生児医療（新生児専門医）を目指す医師を対象とする。
- 会員・非会員は問わないものとする。

(2) 概要

- 2022年度は、6月末、9月、12月の3回の実施を目標とする。
- 平日の18:00～19:00開催とする。
- まずは“参加費無料・オンデマンド配信なし”というところから検討する。

(3) 企画

- 前半と後半にわけ、前半では本セミナーの独自色を出し、後半では基礎的な内容に触れる構成とする。
- 第1回目は Pros/Cons 討議を予定。

13) 学会誌編集委員会 (河井委員長)

投稿原稿の状況について報告があった。

14) 学術委員会 (長谷川委員長 代 早川理事長)

現在「学術奨励賞」を選考中。追って「学会論文賞」の選考に入る予定である。

15) 薬事委員会 (飛弾委員長 代 早川理事長)

1. ヒドロキシクロロキン硫酸塩製剤 (プラケニル[®]) の6歳未満小児への禁忌条項削除についての要望を厚労省に提出することとした。理事会承認を経て、日本小児呼吸器学会に共同の提案をした (本報告書作成時点で回答待ち)。
2. 厚労省の「供給停止予定品目 (薬品, 医療材料, 診断薬剤など)」について日本小児科学会薬事委員会経由で疑義照会の連絡が定期的であり、適宜対応している。本会からの疑義照会品目はなかった。
3. 製薬協が行った「小児・希少疾患・難病レジストリの利活用促進に向けた検討」のアンケートに協力し、その結果が製薬協のホームページに公開された。

(https://www.jpma.or.jp/information/evaluation/results/allotment/pediatric_rare_disease_202204.html)

16) 医療の質向上委員会 (長委員長)

1. 稀有疾患 (病態) サーベイランス事業 (報告数は2022年4月8日時点)

- 新生児偽性低アルドステロン症 (～2022年3月): 20例
- MIRAGE 症候群および MIRAGE 症候群関連疾患 (～2022年10月): 7例
- 新型コロナウイルス感染症の母体から出生した児 (～2023年3月): 50例
- 軟骨低形成症 (～2024年12月): 1例

2. フォローアップ事業

厚生労働科学研究費 健やか次世代育成総合研究事業「低出生体重児の成長・発達評価手法の確立のための研究」

2021年11月17日 (令和3年度) ～ 2023年3月31日 (令和4年度)

研究代表者: 河野由美 (自治医科大学)

17) 災害対策委員会 (茨委員長)

特になし

18) 医療安全委員会 (大曾根委員長)

特になし

19) 調査研究審査委員会 (高橋委員長)

特になし

20) 利益相反委員会 (廣間委員長)

特になし

7. 今後の新生児医療について (早川理事長)

いわき市医療センターの本田先生より地域によって新生児医療がひっ迫し、大変なことになっているとの報告があった。本会としても働き方改革も含め、新生児医療の今後を考えていく必要があり、先生方のご協力をお願いしたい。